

会 告

名誉会員推挙のお知らせ

本会では、定款第8条の規定により、理事会および評議員会の議決を経て、学界、業界にあつてわが国鉄鋼界の進歩発展に貢献された下記四氏を名誉会員に推挙することに決定、先般富山大学において開催の第68回講演大会の際に名誉会員推挙式を行ない、湯川会長よりそれぞれ、名誉会員推挙状ならびに名誉会員章を贈呈いたしました。

名誉会員 角野尚徳君（八幡製鉄株式会社相談役）
 塩沢正一君（早稲田大学名誉教授）
 西山弥太郎君（川崎製鉄株式会社社長）
 広田寿一君（住友金属工業株式会社会長）

日本鉄鋼協会「特別報告書」の刊行について

本会では共同研究会（昭和38年1月以前は鉄鋼技術共同研究会）の研究成果を会誌「鉄と鋼」の記事中に、または臨時増刊号として掲載、会員各位に報告いたしました。

しかしながら限られたページ数では、研究成果を網羅することはできず、貴重なデータを相当量割愛して会誌に掲載を図っておりました。研究成果の発表は十分な内容を含み、かつ速報性を要求されるものでありますが、論文その他掲載原稿の増加などにより、誌面が大きな制約をうけ、その掲載が遅れておるのが現状であります。

加えて、今後本会内における共同研究会以外の各種調

査、研究委員会の活動が一段と活発となり、研究成果あるいは報告書の発表が予想されます。

本会では、このような情勢に鑑み、いろいろ検討の結果共同研究会ならびに各種調査、研究委員会から提出される研究成果の報告書は「特別報告書」として、その都度単独刊行し、購読希望者に有償頒布することに決定いたしましたのでお知らせいたします。

なお会員各位には最少限の負担に止まるよう最善の努力を払いますが、本会の意を了とせられ、ご協力下さるようお願いいたします。

訪英鉄鋼視察団報告書刊行について

本会が英国に派遣いたしました鉄鋼視察団は、帰国以来数回にわたり、報告書のとりまとめ作業を行なつてまいりました。

報告書は「英国鉄鋼業の現況」と題し、これを総括編、各論編に分け刊行いたすことになり、すでに総括編は9月末会誌第12号会告掲載に刊行いたしました。

各論編は現在11月末刊行を目標に印刷作業を進めております。その内容に次のごとくであります。

1. 製鉄について
2. 製鋼について
3. 連続鑄造について
4. 条鋼圧延について
5. 厚板圧延および熱間帯鋼圧延について
6. 薄板および表面処理について
7. 製管工業について
8. オートメーションの現状とその研究について
9. 工場建設について

10. 研究について

11. 鉄鋼業標準化について

本報告書は、購読を希望される方に有償頒布をいたしますので、下記要領にてお申込み下さい。

また、総括編も残部がありますので、購読ご希望の方はお申込み下さい。

記

I. 訪英鉄鋼視察団報告書 英国鉄鋼業の現況 各論編

(1) 頒 価 会 員 1,200円 (送料1部概算)
 非会員 1,800円 (200円)

(2) 申込方法 「視察団報告書・各論編」および送付先を明記、代金ならびに送料を同封のうえ、現金書留にてお申込み下さい。

(3) 申 込 先 東京都千代田区丸の内1-1
 交通公社ビル 日本鉄鋼協会

なお、送料は地域、重量によつて発送方法を変えますので、概算額を送付願、現品発送の際に精算いたします。

II. 訪英鉄鋼視察団報告書 英国鉄鋼業の現況 総括編

- (1) 頒 価 会 員 600円 (送料1部 60円)
非会員 900円
- (2) 申込方法 「視察団報告書・総括編」および送付先を明記，代金ならびに送料を同封の

うえ，現金書留にてお申込み下さい。

- (3) 申込先 I. に同じ
なお，第12号会告にて代金を会員 800円，非会員1200円とご案内いたしましたが，その後上記のごとく変更になりました。

「鋼の脱酸の物理化学的原理」刊行について

本会では情報活動の一環として，海外で発行される鉄鋼に関する文献で，わが国では入手の難かしい文献の収集に務めておりますが，入手出来た文献は翻訳し，会員各位を始め，広く鉄鋼関係者に周知する方針で作業を進めております。

このたび，ソ連において発行されました「鋼の脱酸の物理化学的原理」(ザマーリン著)を翻訳刊行することになりました。

本書は

1. 鉄と酸素
 2. 各種元素の脱酸能
 3. 溶銑中の酸素の活量におよぼす脱酸元素の影響
 4. 脱酸反応物の生成と溶鋼からの分離
 5. 鋼の再酸化
 6. 脱酸元素とイオン，窒素との反応
 7. 真空中の鋼の脱酸
 8. 将来における研究の動向と内容
- の8章からなり，関係者には興味ある内容豊富な書物と思われま

本書は下記のごとく購読希望者に有料頒布いたしますのでお申込み下さい。

記

1. 書 名 鋼の脱酸の物理化学的原理
2. 著 者 A. M. SAMARIN (ソ連)
3. 訳 者 東北大学選鉱製錬研究所教授
工博 大谷 正 康
九州大学工学部鉄鋼冶金教室
工博 川合 保 治
4. 頒 価 会 員 900円 (送料1部概算100円)
非会員 1,300円
5. 申込方法 書名および送付先を明記のうえ，代金(送料とも)を同封現金書留にてお申込み下さい。
6. 申込先 東京都千代田区丸の内 1-1
交通公社ビル 日本鉄鋼協会
なお，送料は未定のため，概算額で払込み願ひ，現品発送の際に精算いたします。

“微量冶金学(micro-metallurgy)鉄および非鉄金属合金 に対する微量添加の役割”に関するシンポジウムについて

(インド国立冶金研究所主催)

金属および合金にある種の元素を微量添加することによりその性質が著しく改善され，または有害な影響を受けることはよく知られており，微量で大きい効果を生ずる機構，理論は特に関心を持たれております。

インド国立冶金研究所ではこの問題について年初め下記の各分野に関する国際的シンポジウムを開催を計画中で本会に対しその 1st circular を送付され，関心ある方の出席および論文寄稿を要望して来ました。詳細は続報で明かになるとは思いますが取あえずお知らせいたします。1st circular は事務局にあります。

記

開催時期 1965年初頭 (月日未定)
開催地 Jamshedpur (インド)

シンポジウムの範囲

1. 鉄および非鉄金属合金に対する微量添加の一般的理論的考察——微量添加の相変態，微細組織，微小相 (micro-phase) におよぼす影響
2. ある種の元素の微量添加を基にして発展した鉄および非鉄合金
3. 種々の合金に対する微量添加の清浄効果およびそれによつてえられる冶金的特性 (铸造性を含む)
4. 鉄および非鉄合金に対する微量添加の経済的効果
5. 特にインドの事情を考慮した場合の種々の冶金分野における微量添加の実際的応用
6. 海外における微量冶金学の状況 (インドと対比)
7. 微量添加物，微小相，組成などを確認，推定するための定性定量的方法および物理的方法

会員の住所異動通知について

会員の方々に転勤、転格（学生会員から正会員に）などにより住所あるいは連絡先を変更されました場合には、たびたびお願いいたしましたようにただちに協会事務局までご連絡いただくことになっております。

しかしながらご異動後相当の日数を経てからご連絡を受けることが多々ありまして、会誌発送のさいに行違い

を生じ支障をきたしますので、異動のご連絡は速やかに書面にて協会事務局までお知らせ下さいますようお願いいたします。

毎月25日以降に到着した異動ご通知につきましては当月の発送に間に合わないこともありますのであらかじめご了承ください。

Tetsu-to-Hagané Overseas (第4巻・第2号)発行のお知らせ

Tetsu-to-Hagané (季刊・A4版) 第4巻・第2号を発行いたしましたのでお知らせいたします。
購読をご希望される方は、下記宛お申込下さい。

頒 価 会員 500円 非会員 1440円 (送料込み)

申 込 先 東京都千代田区丸の内 1-1 日本交通公社ビル8階
日 本 鉄 鋼 協 会

目 次

第4巻・第2号 (Vol. IV, No. 2, 1964)

Presidential Address

A Description on the Activities of The Iron and Steel Institute of Japan.
.....By Masao Yukawa...108

Foreword

Present and Future of Iron Ore in Japanese Iron Industry.
..... By Kōsuke Kikuchi...110

Institute Announcement and Reports —Spring General
Assembly and 67th Grand Lecture Meeting—112

Lecture Subjects for the Preprints for the 67th Grand Lecture
Meeting of The Iron and Steel Institute of Japan.115

Research Articles

The Study of Gas Utilization Coefficient and Carbon Deposition on
Ore Bed Reduction. By Tanekazu Sōma...121

The Application of Oxygen Concentration Cells with the Solid
Electrolyte, ZrO₂-CaO to Basic Research Works in Iron and
Steel Making.By Yukio Matsushita and Kazuhiro Gotō...128

Studies on the Immersion Pyrometry of Steel Bath in the Ladle for
the Severe Control of Casting Temperature.
..... By Shinsaku Onodera, Yutaka Arakida and Noboru Hiraoka...139

Study on a Continuous Wire Rod Rolling.By Saburō Dazai...148

The Effect of Uranium on Iron and Steel.
..... By Masayoshi Hasegawa and Ichirō Onoda...154

Panel Discussion

On Melting of High Carbon Steel by Oxygen Converter Process.165

Abstracts from the Journal of The Iron and Steel Institute of Japan,
January to May 1964203

Iron and Steel News222

Contents of Recent Articles on Iron and Steel Published in Japan224

Japanese Patent Applications Published.226

Introducing Steel Plants and Products

Aichi Steel Works, Ltd.232